

気候情報

2011年10月の日本の天候

- 北日本から西日本で気温の変動が大きかった
- 沖縄・奄美では顕著に、降水量が多く、日照時間が少なかった
- 下旬に九州南部、四国などで記録的な大雨

10月の天気概況

北日本から西日本では低気圧と高気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わった。上旬は強い寒気の影響を受け、北日本を中心に顕著な低温となった時期があったが、中旬には東・西日本中心に各地で夏日となるなど顕著に気温が高くなった時期があった。下旬も南からの暖かい気流の影響で気温が高くなった時期があるなど、月を通して北日本から西日本では気温の変動が大きかった。

下旬のはじめと終わりには、暖かく湿った空気の影響により、西日本の太平洋側を中心に大雨となり、九州南部、四国などで記録的な大雨となったところがあった。

沖縄・奄美では、下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、上・中旬は気圧の谷や湿った気流の影響により、曇りや雨の日が多かったため、月降水量はかなり多く、月間日照時間はかなり少なかった。

上旬：はじめは、日本の北を前線を伴った低気圧が通過した影響により、北・東日本の日本海側を中心に雨となった。その後、東・西日本を中心に移動性高気圧に覆われて晴れたが、この時期としては強い寒気の影響を受け、北日本を中心に気温が大幅に平年を下回った。中頃は日本の南岸を低気圧が北東進して全国的に雨となり、その後は移動性高気圧に覆われて、北日本から西日本で晴れた。旬末は、日本の北を通った低気圧の影響で北日本は雨となった。沖縄・奄美は、湿った空気や低気圧の影響により曇りや雨の日が多く、旬間日照時間は1961年以降、10月上旬としては最も少ない値を更新した。

中旬：はじめは、移動性高気圧に覆われて北日本から西日本で晴れたが、その後は低気圧や前線の影響で全国的に天気が崩れ、東・西日本や沖縄・奄美では大雨となったところもあった。後半は、北日本から西日本で高気圧に覆われて晴れた日が多く、東・西日本を中心に各地で夏日となった日があるなど、気温が顕著に高くなった時期があった。沖縄・奄美では、前線や低気圧の影響により、曇りや雨の日が多かった。

下旬：はじめは、暖かく湿った空気の影響により、東・西日本の太平洋側を中心に各地で大雨となり、宿毛（高知県）では21日に10月の日降水量の多い方からの一位を更新するなど、西日本では記録的な大雨となったところがあった。中頃にかけては、日本の北を前線を伴った低気圧が通過した影響で、北・東日本の日本海側を中心に雨となり、南からの暖かい空気が流れ込んだ影響で、北日本から西日本で気温が高くなっ

た。その後、寒気の影響により一時的に全国的に気温が低くなった。終わりには、暖かく湿った空気の影響により西日本を中心に雨となり、九州南部、奄美では大雨となったところがあった。暖かく湿った空気の影響を受けることが多かった北日本太平洋側では、降水量が多く、日照時間はかなり少なくなり、旬間日照時間は1961年以降、10月下旬としては最も少ない値を更新した。沖縄・奄美では、中頃以降は高気圧に覆われて晴れたところが多かった。

10月の気候統計

月平均気温：北日本で高く、東・西日本、沖縄・奄美で平年並だった。

月降水量：沖縄・奄美でかなり多く、西日本で多かった。延岡（宮崎県）では10月の月降水量の多い方からの1位を更新した。北日本日本海側、北・東日本太平洋側では平年並で、東日本日本海側では少なかった。

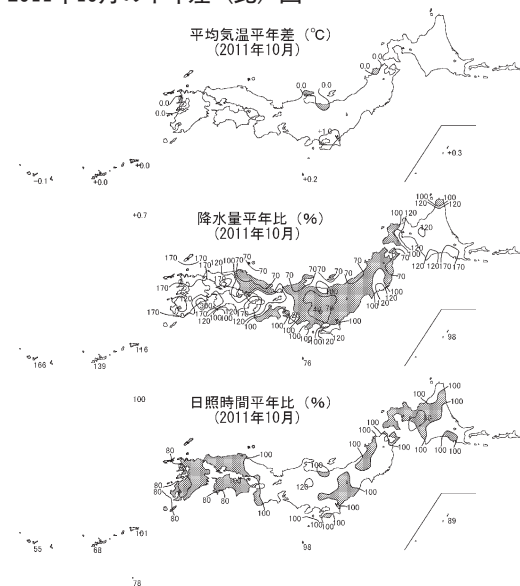
月間日照時間：沖縄・奄美でかなり少なく、西日本で少なかった。北日本、東日本太平洋側では平年並で、東日本日本海側では多かった。石垣島（沖縄県）で10月の月間日照時間の少ない方からの1位を更新した。

（気象庁観測部統計室）

10月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から（mm）
延岡 636.0
- ・月間日照時間少ない方から（時間）
石垣島 87.7

2011年10月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。